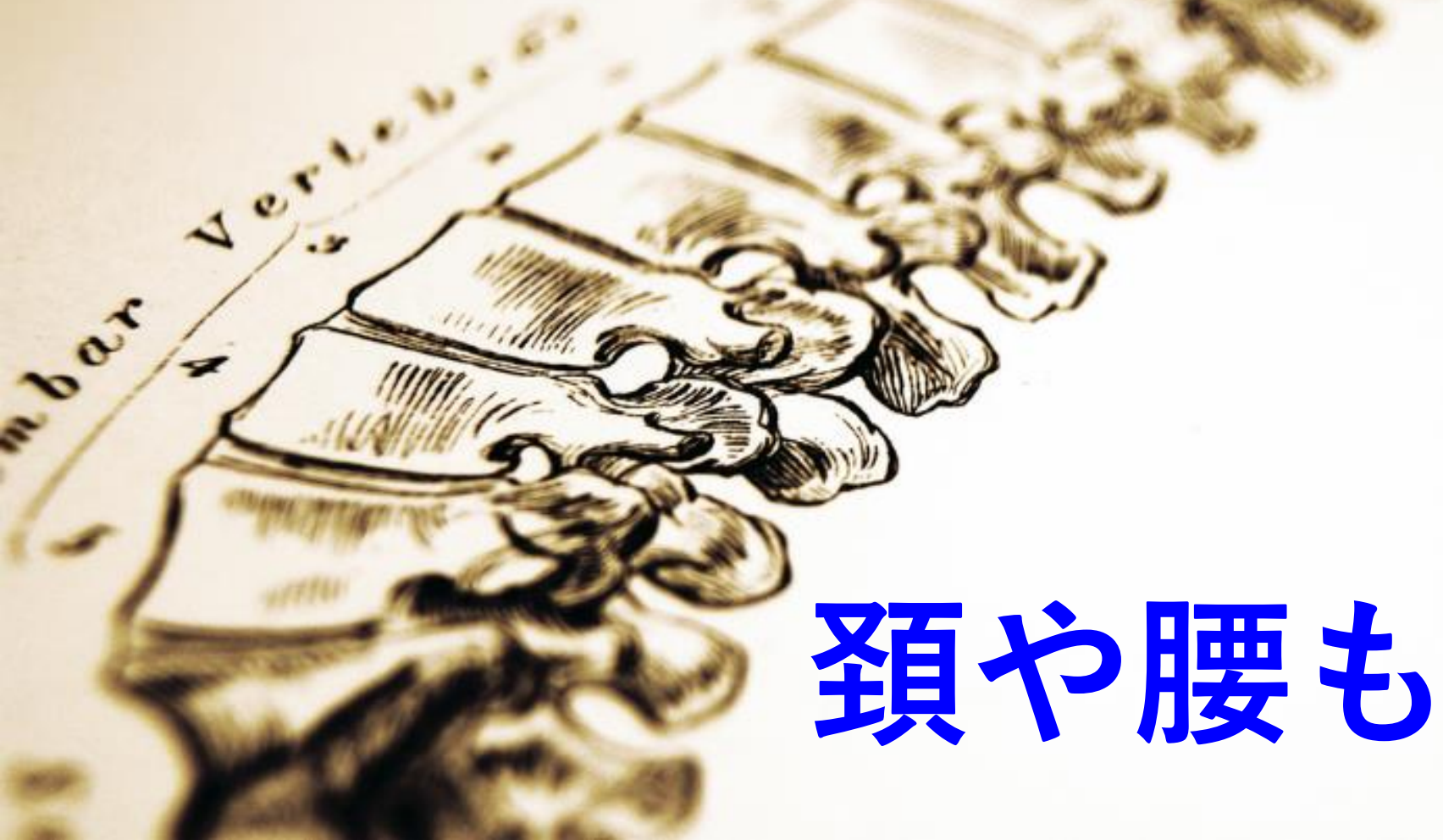
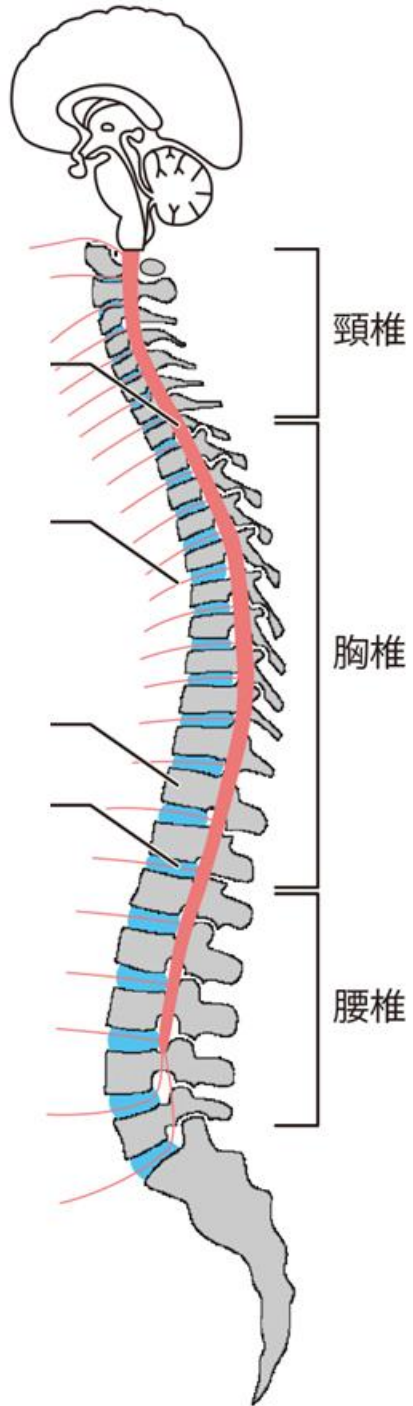


あなたの背骨を大切に



頸や腰も含みます

脊椎と神経障害



脊椎のすぐ後ろが神経の束



脊椎が傷んで神経も障害



脊髄症、脊柱管狭窄症

神経根症

椎間板ヘルニア

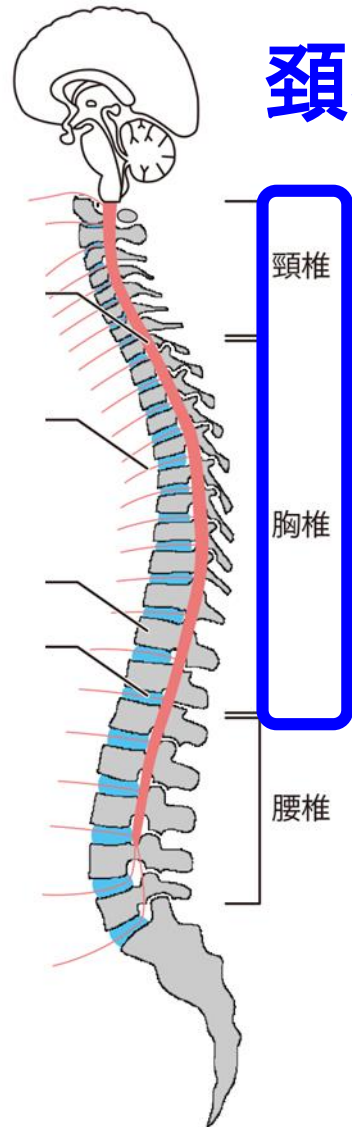
後縦靭帯骨化症

長年の積み重ねで
脊椎が局所的に傷んできて
神経の通り道が狭くなる



姿勢や日常生活動作など
日々の背骨ケアが大切

脊髄は脳と同じく回復しにくい

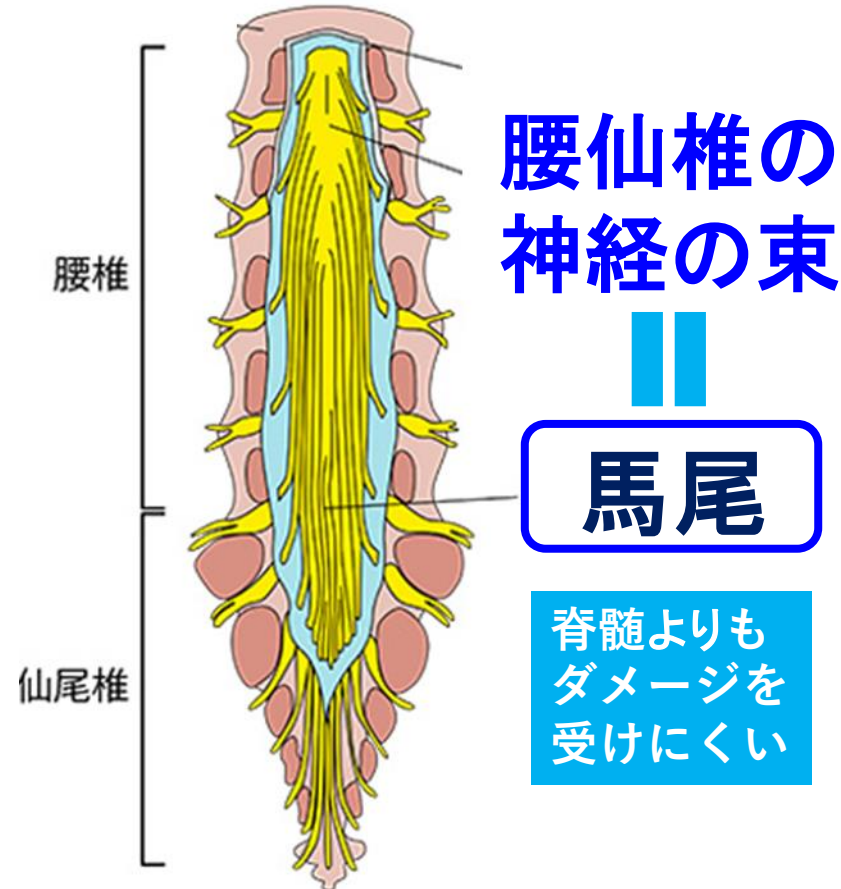
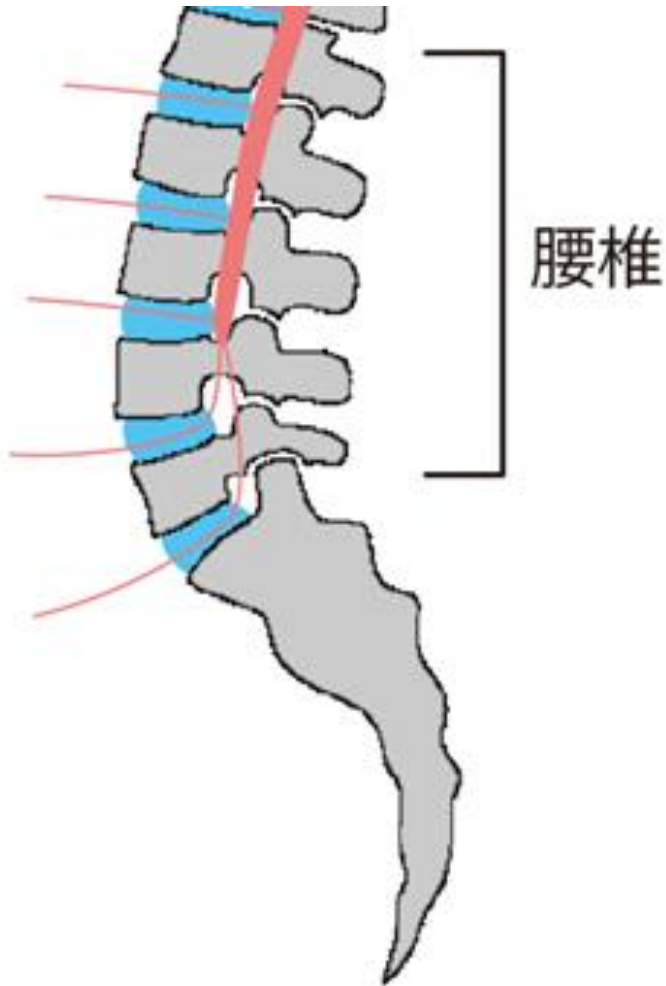


頸椎、胸椎の神経の束は脊髄



軽症のうちに手術も考慮

腰椎、仙椎レベルでの障害



- ・ 著明な下肢麻痺なし
- ・ 排尿や排便の障害なし



下肢の痛み、しびれの治療



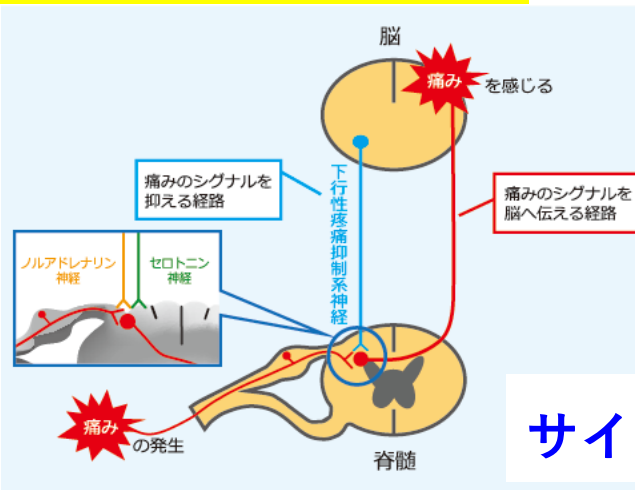
まずは内服治療

痛みの種類を考えた内服治療

炎症を抑える治療

ロキソニン
セレコックスなど
一般的な痛み止め

痛覚過敏の治療



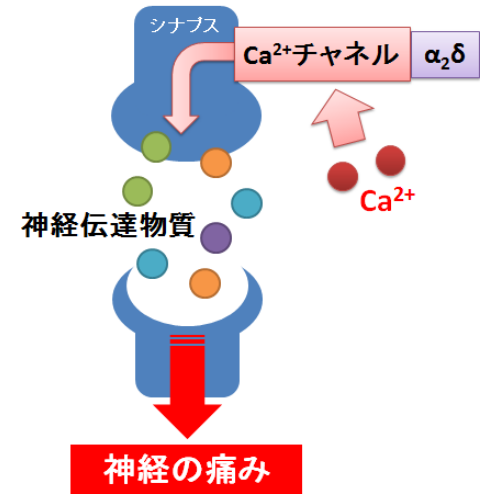
サインバルタなど

侵害受容性疼痛

神経障害性疼痛

痛覚変調性疼痛

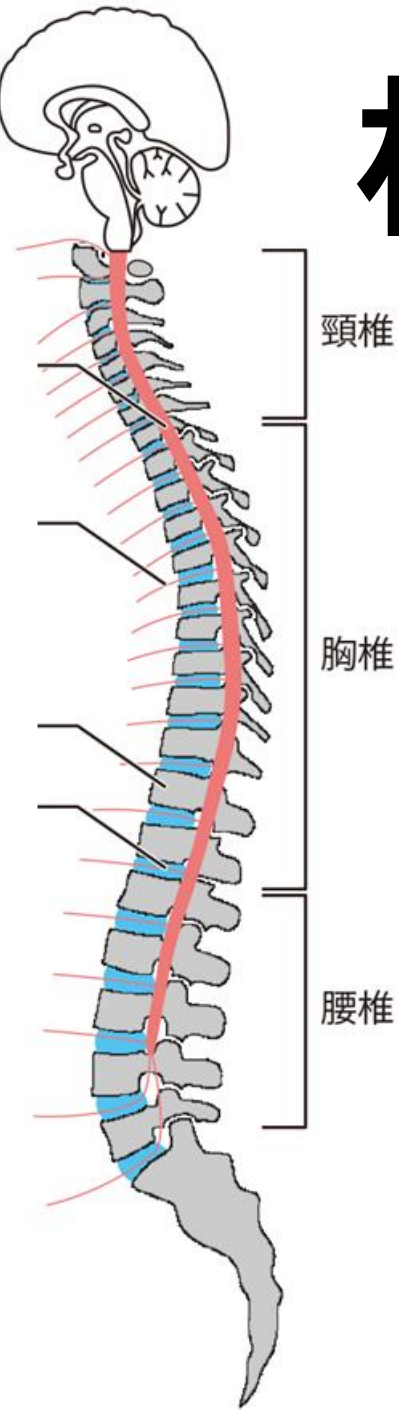
神経障害の治療



リリカ
タリジエなど

それぞれの組み合わせで
相乗効果も期待できる

椎体骨折も神経障害に関係

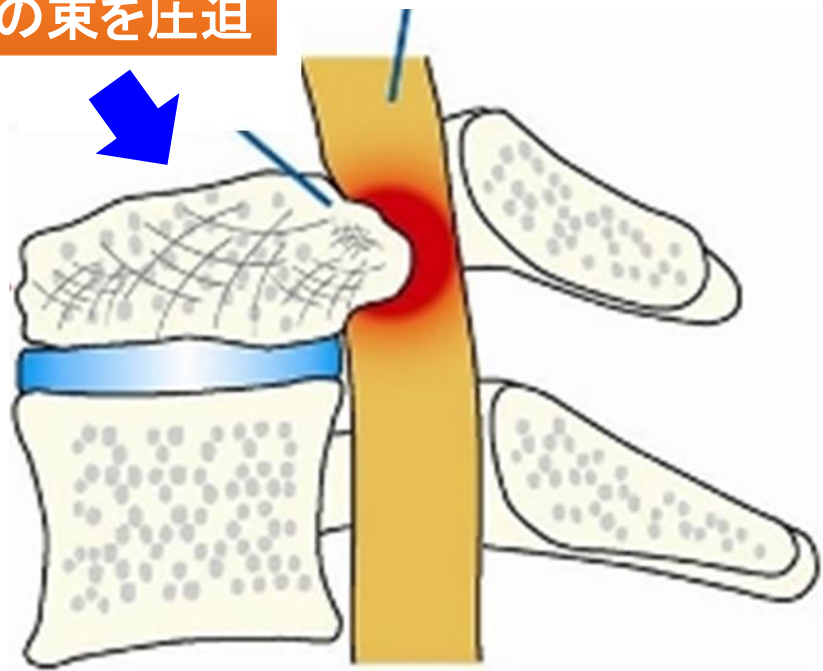


頸椎

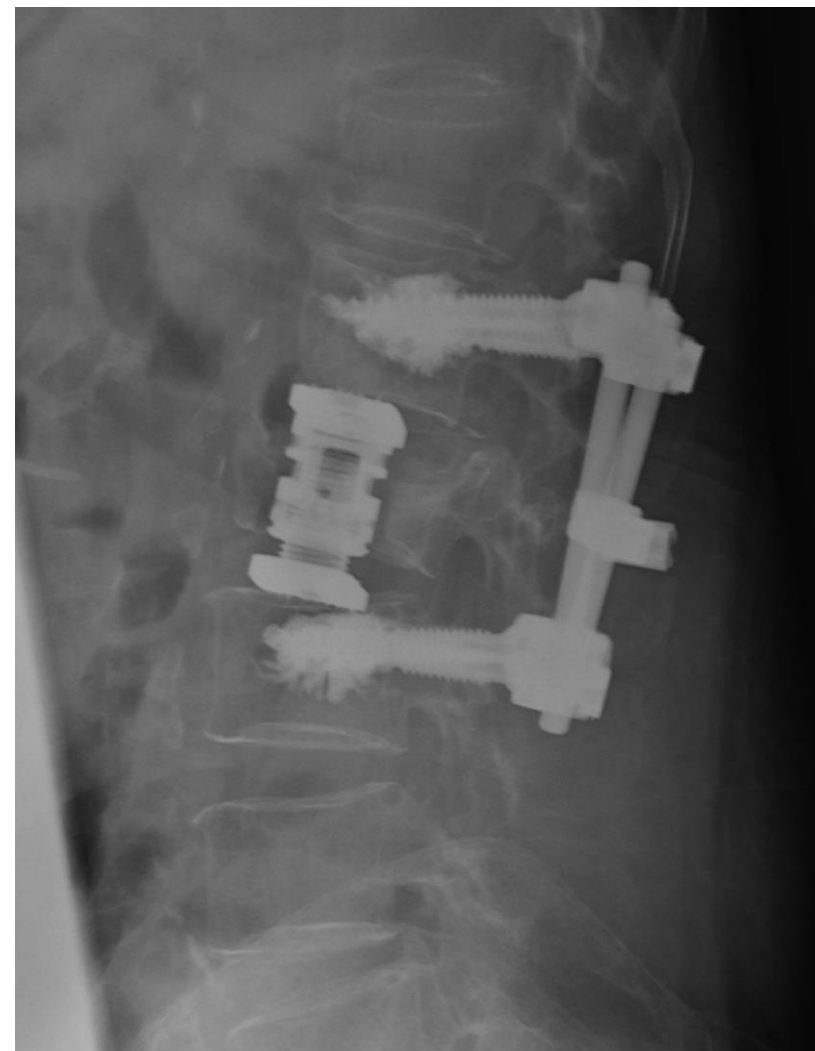
骨折した椎体が
神経の束を圧迫

胸椎

腰椎



進行してしまった場合は手術



まずは骨粗鬆症の早期診断

骨折しないための
予防が大切です



検診による骨密度測定

骨折してしまった場合

立った姿勢からの転倒か、それ以下の外力での椎体骨折や大腿骨近位部骨折

➡ それだけで骨粗鬆症の診断となり治療が必要

- これ以上骨折しないために
- これ以上進行させないために
- 手術にならないために



骨折は1カ所でストップ！！